

サステナブルリカバリーの視点に立ち、将来像を実現するための戦略と主な取組

戦略
01

質の高い緑と魅力的な水辺空間の形成

～自然を感じられ、ゆとりと潤いのある都市へと進化する～

- ・水辺や道路等の公共空間を親しみやすく居心地のよい、賑わいある空間に再編
- ・海に開かれた建物や緑、ライフスタイルを描く水辺を生かしたまちづくりの誘導

Barangaroo (シドニー): レンドリース株式会社提供
【魅力ある水辺の空間整備】戦略
02

リスクにスマートに対応する防災減災対策の推進

～いかなる災害からも都民を守る～

- ・普段使いしながら気候危機にも備えた浸水対策の推進
- ・老朽化した直立護岸から減災機能を発揮するグリーンインフラの水辺への再生

Hunters Point South Park (ニューヨーク)
【グリーンインフラの護岸整備】戦略
03

ひとと地球のためのデジタルと先端技術をまちの隅々まで実装

～全ての人が快適に暮らし働くことができる～

- ・最先端の「海洋×Tech」を研究・開発する海上都市の検討
- ・技術革新を見据え、都市のゼロエミ化、建築物の木造化の取組推進

戦略
04

にぎわい・交流・イノベーションを生む世界から選ばれるまちの実現

～多様な魅力に磨きをかけ、世界を魅了する～

- ・都有地を先導的に活用し、世界中から多様な人々を出迎え、交流により新しい文化を創造・発信する拠点の形成
- ・東京2020大会開催のストーリー性を生かした競技施設周辺に広がるレガシーの形成



【海上の研究施設イメージ】

戦略
05

まちの魅力や活動の基盤となる快適で多様な移動手段の充実

～人やモノの自由な移動を支える交通ネットワークを構築する～

- ・区部中心部と臨海部とをつなぐ背骨としての臨海地下鉄をはじめ、羽田空港アクセス線、地下鉄8号線延伸、品川地下鉄の整備
- ・舟運による臨海部の回遊性向上
官民が連携し、航路の充実に向けた“過ごしたい場所”への船着場の整備とにぎわいの創出



【舟運の活性化】

Barangaroo (シドニー)：レンドリース株式会社提供

パークロイヤルコレクション
ピッカリング
(シンガポール)



キャピタグリーン(シンガポール)



かつての東京湾の環境を再生した、生物多様性が豊かで身近に触れられる干潟の整備などにより、**環境教育の場の提供の推進**

戦略2 リスクにスマートに対応する防災・減災対策の推進

水辺沿いの魅力的な歩行者ネットワーク形成にも資する隅田川の**スーパー堤防**の整備

現況の高潮防潮堤

スーパー堤防

臨港道路やふ頭敷地などの**無電柱化**



自律分散型発電施設の立地促進による**エネルギーの安定的供給と事業継続性の確保**

有明の基幹的広域防災拠点を活用した取組の充実や帰宅困難者支援機能の強化



備蓄倉庫

防災船着場の整備・運用



軽傷者・医療物資輸送

空間のリダンダンシーとして、**被災地支援の巨大拠点**の役割も担い、東京全体の迅速な復旧・復興に貢献できる機能の確保

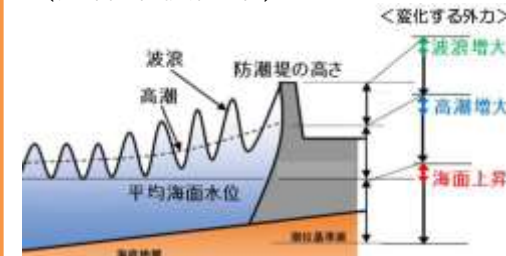


広域ゼロメートル市街地における気候変動による大規模水害リスクに備えた**浸水に対応したまちづくりの推進**



出典：「災害に強い首都『東京』形成ビジョン」概要版

気候変動起因の災害リスク対策※1
(具体策検討中)



出典：「気候変動を踏まえた海岸保全のあり方検討委員会資料」（R2.6）（国土交通省）より東京都作成

防潮堤・内部護岸の耐震対策、水門・排水機場の耐震・耐水対策の推進※2



都市開発に合わせ、老朽化した直立護岸から減災機能を発揮する**グリーンインフラの水辺への再生**



高潮時には湿地帯となるHunters Point South Park（ニューヨーク）

戦略3 ひとと地球のためのデジタルと先端技術をまちの隅々まで実装

最先端の
「**海洋×Tech**」
を研究開発する
海上都市の検討



新たな技術を活用した**建築物の木造化**、木質部材の利用の推進



技術革新の動向も見据え、**都市再生特別地区の活用**などによる
100%脱炭素化の取組推進



芝浦一丁目地区

空港の施設・車両の**CO2削減を推進**、再生可能エネルギー活用加速



藻場・浅場等の海洋生態系に取り込まれた炭素、いわゆる「**ブルーカーボン**」の活用を検討



目指すべき将来像の実現に向け、本戦略に取組む主な拠点

5Gの整備や自動運転等の実装による、**まち全体のショーケース化**



AIを用いた**エネルギー**管理システムにより**需要を予測**し、エネルギー利用を効率化、最適化

水素をまちのエネルギーとして先導的に導入



広大な埋立地で**最先端テクノロジー**を実装する**エリア**として開放、ショーケース化



空飛ぶクルマ

先端技術開発を担う**スタートアップ**や**eスポーツ**関連の企業等の進出を支援



港湾・物流エリアにおいて、太陽光発電や荷役機械・トレーラー等への燃料電池の導入、デジタル技術による荷役の効率化を通じた環境負荷の低減などによる**カーボンニュートラル**の取組を推進

倉庫等での**次世代エネルギー利用拡大**

CNな電力の供給

荷役機械の燃料電池化

次世代エネルギー燃料船の就航



出典：国土交通省交通政策審議会第81回港湾分科会資料より東京都作成

戦略4 にぎわい・交流・イノベーションを生む世界から選ばれるまちの実現

世界の人々を迎え入れ、**新たな文化を創造・発信できる機能**を導入



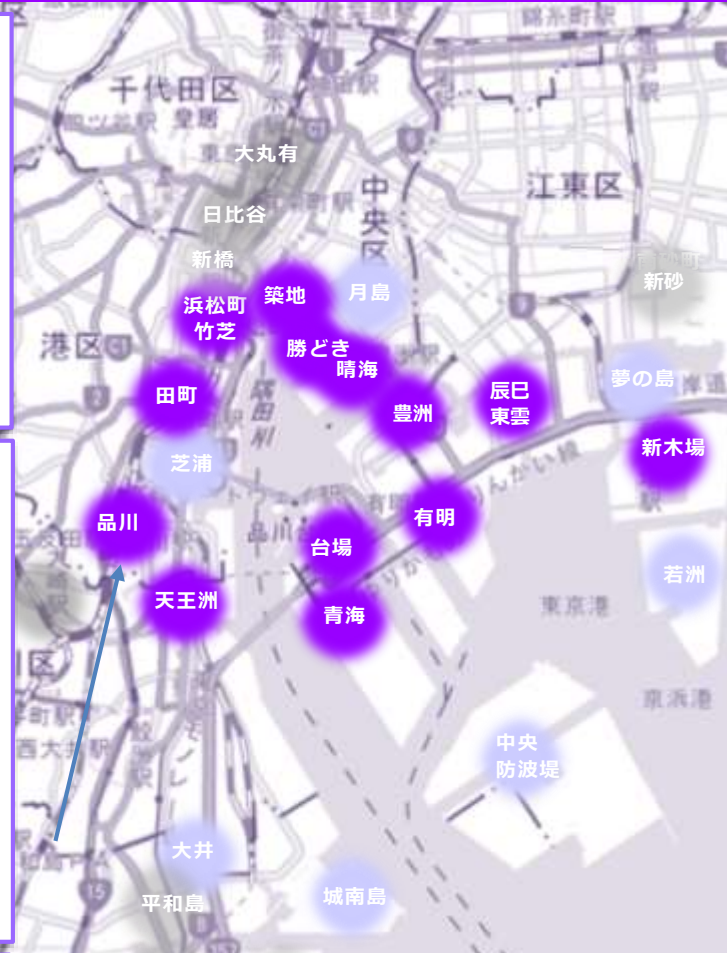
大学を核とした新たなオープンイノベーションの創出など、**インキュベーション施設の整備促進**



臨海副都心等の既往計画は次のステージへ移行し、**ニーズに応じた柔軟かつ複合的な民間開発を誘導**



屋外広告物を活用した**エリアマネジメント支援事業**や**プロジェクションマッピングの実施**。また、**活発なエリアマネジメント**により、屋内外の民有空間と道路・公園等の公共空間が、一体的な賑わいを形成



テレワーク普及に対応し、共用スペースを備えた**シェアオフィス**や**サテライトオフィス**等の整備



大規模団地の建替えにあわせ、公共公益施設の再配置や**交流機能の導入が促進**

目指すべき将来像の実現に向け、本戦略に取組む主な拠点

本戦略の取組みが行われる可能性が高い拠点

臨海地下鉄の沿線地域では、未処分地、低未利用地の活用により高度利用を図りながら、**スポーツ、エンターテインメント、エキシビション、ホテル機能**等の機能を導入



民間提案や活力を活かせる仕組みを導入し、公共空間も含めた**トータルなコンセプトやデザインによるベイエリア**ならではの**エリア開発の促進**



交通利便性や静穏な水面、長い水際線を生かし、**働く人、訪れる人の活動の質を高める複合的な都市機能**を導入



東京2020大会の競技施設周辺では周辺民間開発による商業施設、ホテル、ホールなどの豊富な機能集積との相乗効果などにより、**面的に広がりのあるレガシーが形成**



戦略5 まちの魅力や活動の基盤となる快適で多様な移動手段の充実

品川地下鉄

- ・ リニア中央新幹線の始発駅となる品川駅及び同駅周辺地区と六本木等の都心部とのアクセス利便性が向上

羽田空港アクセス線

- ・ 機能拡充を図る羽田空港と国際競争力強化の拠点である区部中心部や新宿、臨海部等とのアクセス利便性が向上

環状3号線

- ・ ベイエリアと区部中心部を結び交通・物流ネットワークが強化

舟運

- ・ 通勤・観光の利用拡大や公共船着場の開放、バリアフリー化、船客待合所の整備など、舟運の活性化に向けた取組を着実に推進



クルーズ

- ・ 東京国際クルーズターミナルの2バース体制が実現



羽田空港

- ・ ビジネスジェットの受入体制強化など、空港の機能拡充を通じて増大する航空需要への対応を強化

地区内交通

- ・ 官民の空間連携によりシェアリングサービスが充実し、パーソナルモビリティの導入が促進



臨海地下鉄

- ・ 区部中心部と開発が進む臨海地域とをつなぐ基幹的な交通基盤、言わば背骨としての役割
- ・ 大いなるポテンシャルを有するベイエリアの鉄道網を充実させ、東京を持続可能な都市にし、日本の成長を確かなものとしていく上で重要な路線

地下鉄8号線延伸

- ・ 臨海部と区部東部の観光拠点とのアクセス利便性が向上するとともに、東西線の混雑が緩和

首都高速晴海線延伸

- ・ 都心と臨海部の連携強化とともに、臨海部の交通分散や利便性向上に寄与

第二東京湾岸道路

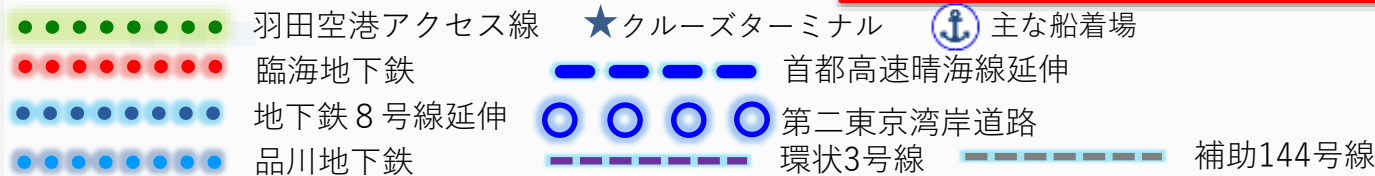
- ・ 都県間の広域的な交流・連携を促すとともに、中央防波堤エリアの土地利用が進み、湾岸道路（国道357号）から内陸側については、生活関連物資等の流通を支える内港地区の港湾地域等を除き、都市的な拠点開発が促進

BRT

- ・ 交通需要の増加に速やかに対応し、区部中心部とベイエリアとを結ぶ

大型クルーザー

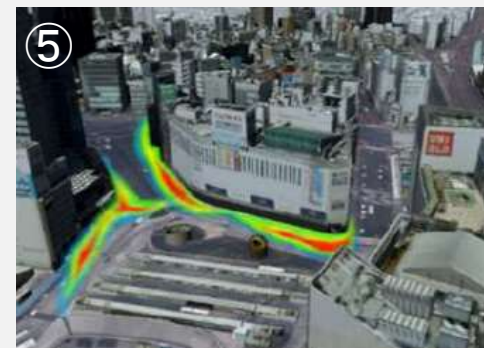
- ・ ニーズに対応した受入体制の整備



ベイエリアを次なるステージに導く都市づくりのシナリオ

～気候危機への対策を大前提として世界から人と投資を呼び込む～

- 戦略1～5の取組は、戦略ごとではなくトータルで取り組むことで、分野横断的に連関して効果を発揮するものである。
- 本頁では、ひとつのシナリオに基づいて各戦略に横串を刺す例示として、世界から選ばれる都市となるための都市の機能や魅力を高める一連の取組は、危機への備えがセットになって組み込まれていることを示す。



- 東京2020大会開催とともに世界に提唱した“**サステナブル・リカバリー**”の実現に向け、「**グリーン**」と「**デジタル**」を基軸としたグローバルな変化を踏まえて、ベイエリアの新たな都市づくりを進め、**持続可能な都市を創る**
- 都有地を有効に活用し、**建物のゼロエミ化**や**木造化**、**水素関連技術の活用**などを先導的に取組み、他の拠点に先駆けて**脱炭素化**を推進
- 老朽化した直立護岸から、**減災機能を発揮するグリーンインフラの水辺への再生によって親水性を向上** (①)、**気候危機への対応がスマートに埋め込まれた魅力ある水と緑の空間や建築物の整備** (④) など、災害に強い都市が形成
- アーバンスポーツやパラスポーツの活況を背景に、世界に発信力のある“大会があったからこそ”のストーリー性を生かして、**スポーツ、健康の拠点を形成**
- 民間の力も活かして設置するスマートポール等によって、まちの隅々まで行き渡った**稠密なセンサーネットワークを形成** (⑥) し、**都民生活や都市活動のサービス向上**とともに、**災害時の迅速かつ正確な避難行動につながるリアルタイムの情報が発信** (⑤) されるなど、安心して過ごせる都市が形成
- 公共交通アクセスを高める鉄道ネットワークは、水害時における早期の運転再開に寄与する浸水対策が進捗。街の魅力となる舟運** (②) は災害時には**帰宅困難者や物資の輸送** (③) に活用。
- 確かな危機管理に根差したうえで、人々に感動を与え、温かく出迎える、**世界から人が集まるビジネスや生活の拠点を創造**